

指定管理者制度導入施設 令和7年度モニタリング最終評価

No.	施設名	指定期間	指定管理者名	指定管理者 自己評価 (総合評価)	所管課評価 (総合評価)	最終評価 (総合評価)
1	福生市福祉センター					
	老人福祉センター	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	社会福祉法人 福生市社会福祉協議会	A	B	B
	福祉センター			A	B	B
	児童発達支援センター			A	A	A
2	田園児童館(田園会館含む)	令和4年4月1日 ～令和9年3月31日	労働者協同組合ワーカーズ コープ・センター事業団	A	A	A
	武蔵野台児童館			A	A	A
	熊川児童館			A	A	A
	(学童)田園クラブ			A	A	A
	(学童)武蔵野台クラブ			A	A	A
	(学童)熊川クラブ			A	A	A
3	福生市自転車駐車場	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	センターサイクル福生 共同事業体	A	A	A
4	福生市営福生駅西口駐車場	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	福生市商工会	A	A	A
5	扶桑会館	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	福生市商工会	A	A	A
6	熊川地域体育館	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	福生市スポーツ推進グループ	A	A	A
	福生地域体育館			A	A	A
7	福生市営プール	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日	有限会社ブイフィールド	A	A	A
8	福生市民会館	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日	株式会社コンベンション リンケージ	A	A	A

評価判定基準

(様式5) 指定管理業務総括評価書について

評価基準

評価	評価内容
5	協定書等に基づき適切に実施するだけでなく、市の要求水準を大幅に上回っている。
4	協定書等に基づき適切に実施されており、市の要求水準を上回っている。
3	協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしている。一部に課題が必要な部分が確認されたが、すでに改善されている。
2	市の要求水準を一部満たしておらず改善が必要である。課題解消に向け対応中である。
1	不適切な部分が確認されたため、抜本的な見直しが必要である。

総合評価及び最終評価

評価	得点率	評価内容
S	95%以上	協定書等に基づき適切に実施するだけでなく、市の要求水準を大幅に上回っている。
A ⁺	80%以上	協定書等に基づき適切に実施されており、市の要求水準を上回っている。
A	60%以上	協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしている。
B	40%以上	市の要求水準を一部満たしておらず改善が必要である。課題解消に向け対応中である。
C	20%以上	不適切な部分が確認されたため、抜本的な見直しが必要であり、指定の取消し又は期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止も検討する。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 福生市社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施した。 （所管課評価）法令等に基づき、適切に業務を遂行したと評価する。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価）事業計画書（年間計画書）に則して運営（事業）を実施した。 （所管課評価）事業計画書に基づき、適切な運営を行ったと評価できる。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価）2月に社協職員向けの個人情報取り扱い研修を実施。保護の目的や取得・利用・保管のルールを確認した。 （所管課評価）市同様に内部研修を実施し、指定管理者業務に携わる職員だけでなく法人全体としてセキュリティ対策に取り組んだ点は評価に値する。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価）福祉センターと共に外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行した。 （所管課評価）老人福祉センターは外部委託事業者と業務委託を実施することがほぼないため、平均評価とする。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価）福祉センターと共に施設や設備の老朽化・劣化を都度チェックし、必要な箇所の清掃や修繕を行い維持管理業務を実施した。 （所管課評価）市民が頻繁に利用する健康器具のメンテナンス、入れ替えは適切に実施していると評価する。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）福祉センターと共に清掃や工事等の注意喚起が必要な場所には貼り紙等で対応し、利用者の安全対策を実施した。 （所管課評価）老人福祉センターは利用にあたって登録が必要だが、緊急連絡先の記入など、不測の事態に備えて受付を丁寧に実施している点を評価する。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）クールビズ・ウォームビズを実施し、こまめに消すなどの日常の削減を行い管理運営を実施した。 （所管課評価）クーリングシェルター、温み処を維持しつつCO2の抑制に向けた取り組みを実施した点を評価する。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	2	（自己評価）会計システムを利用し、帳票類を整理して保管し、経理事務について適切な処理を実施した。 （所管課評価）経理面においての月次報告での度重なる修正等があったことから、本項目においては管理方法の改善を求めている。
9	稼働率の向上	施設（浴場）の稼働率を95%以上とする。	3.4	3	（自己評価）年間を通してトラブルはあったが、浴場を95%稼働させる事ができた。 （所管課評価）急なトラブルで使用が困難な際も、利用者のために少しでも浴場を利用してもらうと努力していた点を評価する。
10	重点項目	老人福祉センターの登録者数を前年度以上とする。	3.0	3	（自己評価）登録者数を前年度以上とする事ができなかったが、次年度は工夫をして登録者数を増やせるようにする。 （所管課評価）残念ながら目標達成とはいかなかったが、達成率は99%であることから令和8年度は目標達成に向けて頑張っていた点だいたい。
合計点			30	29	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	58 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	令和7年度は高齢者の引き籠りを回避し生きがいづくりや健康増進を目的とし、前年より教養講座を多く実施した。
所管評価	B	教養講座の実施、健康器具の保守、浴場の維持等要求水準を満たしているが、月次報告、年次報告、実績報告などにおいて度重なる修正がみられることから、より研鑽していただきたい。
最終評価	B	利用者のニーズに合った事業や講座を開催し、利用者が増加した点は評価できる。報告書等の修正については、令和4年度から指摘されている事項である。管理体制の見直し等、改善の検討を早急にしていただきたい。 市の要求水準を一部満たしておらず改善が必要であるため、最終評価は「B」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 福生市社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）都度、高齢者支援係へ指示を仰ぎ、法令を遵守して管理運営業務を実施した。 （所管課評価）法令等に基づき、適切に業務を遂行したと評価する。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価）事業計画書（年間計画書）に則して運営（事業）を実施した。 （所管課評価）事業計画書に基づき、適切な運営を行ったと評価できる。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価）2月に社協職員向けの個人情報取扱研修を実施し、法令を遵守し、保護の目的や取得・利用・保管のルールを確認した。 （所管課評価）市同様に内部研修を実施し、指定管理者業務に携わる職員だけでなく法人全体としてセキュリティ対策に取り組んだ点は評価に値する。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価）外部へ委託した事業者と都度連絡し、連携し協力して委託業務を履行した。 （所管課評価）第三者委託業務は適切に遂行されている。今後は同内容でより安価な業者を探すなど、コスト意識を向上してほしい。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価）施設や設備の老朽化・劣化を都度チェックし、必要な箇所の清掃や修繕を行い、維持管理業務を実施した。 （所管課評価）適切に実施していると評価する。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）清掃や工事等の注意喚起が必要な場所には、貼り紙等を掲示し、利用者の安全対策を実施した。 （所管課評価）今後は自衛消防訓練などを施設利用者とともに実施し、啓発を呼び掛けるといった安全対策も検討していただきたい。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）庭や施設周囲の植木や垣根を剪定し、草取りして花を植栽し市民が利用しやすい管理運営を実施した。 （所管課評価）クーリングシェルター、温み処を維持しつつCO2の抑制に向けた取り組みを実施した点を評価する。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	2	（自己評価）会計システムを利用し、帳票類を整理して保管し、経理事務について適切な処理を実施した。 （所管課評価）経理面においての月次報告での度重なる修正等があったことから、本項目においては管理方法の改善を求めている。
9	稼働率の向上	施設（学習集会室）の稼働率を50%以上とする。	3.0	3	（自己評価）4月・8月・2月以外は、稼働率50%以上になり、多くの市民の方に利用された。 （所管課評価）目標を達成できなかった月も、達成率は90%台であり概ね順調に推移したと評価している。
10	重点項目	光熱水費の使用量を昨年度同月比10%の範囲に収める。	3.0	3	（自己評価）電気は2か月分、ガス（空調使用）は4か月分昨年度使用量を超えた。次年度のエネルギー抑制を課題とする。 （所管課評価）本項目は、その年の気候変化に大きな影響を受ける。利用者ファーストの目線を忘れずに、今後も要求水準の維持に取り組んでもらいたい。
合計点			30	29	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	58 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	環境を配慮した公共施設の維持管理について、敷地や建物、電気・機械設備を都度チェックし、不具合の有無を調べ、必要な箇所は清掃や修繕・取り換え等をして、経年劣化や老朽化に対応した。
所管評価	B	施設の維持管理、来館された利用者に対するサービス意識の向上などは要求水準を満たしているが、月次報告、年次報告、実績報告などにおいて度重なる修正がみられることから、より研鑽していただきたい。
最終評価	B	修繕等の委託事業者へヒアリングを行い、施設の老朽化への対応を行ったことは評価できる。引き続き適切な施設の維持管理を行っていただきたい。 老人福祉センターと同様、月次報告書等については管理体制の見直しを早急に検討いただきたい。 市の要求水準を一部満たしておらず改善が必要であるため、最終評価は「B」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市児童発達支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 福生市社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 法令・基準を厳守し、適正かつ誠実に管理運営業務を遂行した。 （所管課評価） 協定書等に即して管理運営業務を実施している。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価） 事業計画に基づき、各施策を遅滞なく計画通り着実に実施した。 （所管課評価） 事業計画に基づき、相談支援事業、発達支援事業、地域支援事業等を実施している。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価） 規定に則り適切な対策を講じ、情報漏洩防止と安全管理を徹底した。 （所管課評価） 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価） 委託先との連携を密にし、業務が適切に履行されるよう管理した。 （所管課評価） 委託業務に関する確認体制が整備されている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 定期点検と迅速な修繕対応により、施設の良好な状態を維持した。 （所管課評価） 備品台帳に基づき、備品が適切に管理されている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 安全対策を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境整備に努めた。 （所管課評価） 定期的に避難訓練が実施されている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 省エネや資源保護に留意し、環境負荷を抑えた運営を継続した。 （所管課評価） 福生市環境マネジメントシステム(F-e)に取り組んでいる。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価） 会計規定を遵守し、透明性の高い適正な経理処理を徹底した。 （所管課評価） 指定管理業務に係る専用の帳簿等を整えている。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価） アンケート結果を反映し、満足度向上に向けた改善を継続した。 （所管課評価） アンケート結果について、改善に向けて対応している。
10	重点項目	家族支援事業の親子ひろばの参加者が、3組以上となる取組を実施する。	3.0	3	（自己評価） 広報を強化し、親子ひろばの参加目標数達成に向け尽力した。 （所管課評価） 引き続き、親子ひろばの周知に努めて欲しい。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	中核機関として地域支援と質の向上に注力した。重点目標の親子ひろばは、広報やHPの改善により参加者が目標の3組を超える月も増えたが、月ごとの変動が大きく周知の強化が継続課題となった。相談支援ではニーズに応じた調整を徹底し、児童発達支援では定員充足率の向上と専門職研修・季節行事を通じた満足度向上を図った。次年度は関係機関との連携をさらに密にし、地域全体で子どもを支える体制整備を推進する。
所管評価	A	発達に関する相談ができる親子ひろばについては、児童発達支援につなげる等の重要な役割があることから、引き続き周知に努めて欲しい。児童発達支援については、専門職が連携し研修を受ける等、療育支援内容の向上に努め、利用児童が増加している。発達に関する研修会等の実施や、地域連携連絡会議の開催等、地域の障害児の発達において中核的な役割を担う児童発達支援センターとしての機能を果たしている。協定書等を遵守し、その水準に沿った運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	事業開始から2年目となり、利用者数や相談件数が増加し、認知度が向上していることは評価できる。今後も関係機関と連携し、質の高いサービス提供に努めていただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	田園児童館(田園会館含む)
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)人員等を過不足なく配置することが出来た。保険等も適切に加入している。 (所管課評価)必要な資格等を有する人員が確保できており、必要に応じて研修も実施できている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価)子どもアンケート等で利用者の声を聞き、ゲーム大会や中高生タイム等を実施した。 (所管課評価)事業計画書に即した事業を実施しており、利用者アンケート等での意見を反映し、地域のニーズにあった運営ができています。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価)個人情報漏洩しない様に鍵付きの場所で情報を管理している。パスワードを使用し適切な対策を講じている。 (所管課評価)個人情報に関する書類の管理が適切にできており、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価)協定書に基づき委託契約を行った。契約書の内容に従って適切に履行された。 (所管課評価)外部委託委託業務について、適切に実施できており、報告書等も遅滞なく市に提出できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価)施設の点検を適切に行い、必要な場合は修繕をする等の対策を行った。 (所管課評価)点検及び修繕等は適切に実施できており、修繕報告書等も遅滞なく市に提出できている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)安全計画に基づき避難訓練等を行い、安全に利用者が利用できるような対策を講じた。 (所管課評価)安全計画に基づき、避難訓練を実施できている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.1	4	(自己評価)花いっぱいコンテストやF-e等に取り組むことで環境に配慮した管理運営を実施している。 (所管課評価)令和6年度に引き続き、花いっぱいコンテストに意欲的に取り組み、高い評価を得たことは、環境に配慮した運営として評価できる。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価)会館で予約システムが開始したことで専用の口座を用意し使用料に関しても適切な処理を行っている。 (所管課評価)経理については、適切に処理ができており、適正な予算執行ができています。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	(自己評価)利用者アンケートを行い、意見があった内容は改善する等の対策を行った。 (所管課評価)利用者アンケートでの、意見を取り入れた事業の実施を行ったことは評価できる。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.0	3	(自己評価)地域連絡会や2校(五小・三中)のCS会議といった活動に積極的に参加することで地域との連携を図った。 (所管課評価)地域の行事等に積極的に参加し、地域の方と連携できている。また、地域の方の要望により、「子どもカフェ」を開催し、地域住民と児童との交流の機会となった。
合計点			30	31	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	62 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	評価項目に沿って全体的に適切に実施する事が出来た。特に地域貢献の部分では町会の祭りや環境フェスティバル等の活動に積極的に参加した。また、環境配慮の面では花いっぱいコンテストで最優秀賞をもらう等、意欲的に参加したことで結果に結びついた。
所管評価	A	令和6年度に引き続き、花いっぱいコンテストに意欲的に取り組み、高い評価を得ることができており、環境に配慮した運営ができています。また、地域の方の要望により「子どもカフェ」を開催したことは、地域との連携の面で評価することができます。 総じて、協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	令和6年度に引き続き、花いっぱいコンテストで最優秀賞を受賞しており、環境配慮に意欲的に取り組んでいることは評価できる。また利用者や地域の方の要望を反映してイベントを実施したことも評価できる。今後も地域のニーズに沿った児童館運営を行っていただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	武蔵野台児童館
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）学童職員の協力も得ながら適正な配置で一年間運営を続けた。新規職員を採用し、人員を安定させることができた。 （所管課評価）必要な資格等を有する人員が確保できており、必要に応じて研修も実施できている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	4	（自己評価）利用者との関わりの中からニーズを捉え、「中高生タイム」「むさしのだえええ！」等の事業実施内容に反映させた。 （所管課評価）令和7年度から、2階空き部屋を活用した多文化キッズサロンを開設したことにより、子どもの居場所の充実や児童館事業の充実にも寄与しており、評価することができる。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価）研修の受講及び、情報が入っている棚には使用中以外は鍵をかけるようにする等、事故防止対策を行った。 （所管課評価）個人情報に関する書類の管理が適切にできており、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価）外部委託事業者は事前に市の承認を受け、年間を通して保守点検などが計画的に実施されるように確認を行った。 （所管課評価）外部委託委託業務について、適切に実施できている。報告書等も遅滞なく市に提出できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	2.9	3	（自己評価）遊戯室の設備が故障し、一時的に利用を制限した。その他設備は修繕やメンテナンスにより安全に利用することができた。 （所管課評価）点検及び修繕等は適切に実施できている。また、修繕に時間を要する場合は、利用制限を行うことで、利用者の安全確保ができています。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）毎月の避難訓練、年に3回の全館合同の総合訓練を通して、緊急時の対応を確認している。 （所管課評価）安全計画に基づき、避難訓練を実施できている。また、避難訓練等に関するマニュアルも整備されている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）F-eの実施報告書を全職員で確認することで、環境配慮に対する意識を向上させる取り組みを実施している。 （所管課評価）幼児事業「乳幼児のおたのしみ交換会」を実施し、使わなくなった服やおもちゃのリユースに貢献できている。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価）経費の使用前には適切かどうかを職員間で検討してから行い、経理担当者を設置することで適切に管理を行えるようにした。 （所管課評価）経理については、適切に処理ができており、適正な予算執行ができています。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価）日常の関わりを大切に、利用者の声を取り入れる事業を行ったことで、93%と高い満足度評価をいただいた。 （所管課評価）利用者アンケートでの、意見を取り入れた事業の実施や施設整備等の対応を行ったことは評価できる。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.0	3	（自己評価）中学校の周年行事の実行委員をはじめとする地域の行事等に参加をし、児童館行事にも地域の方にご協力いただく事ができた。 （所管課評価）地域の行事等に積極的に参加し、地域の方と連携できている。
合計点			30	31	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	62 %	

総合評価	評価理由	
自己評価	A	今年度は、空き部屋となっていた2F学習室に多文化キッズサロンを開室したことにより、施設内の空き部屋解消、利用者のニーズ拡大につなげることができた。児童館では日々の関わりを通して利用者の声を聞く事を大切に、事業内容や施設の充実につなげることに、高い満足度を得る事につながった。
所管課評価	A	令和7年度から多文化キッズサロンを開設し、夏休み宿題サポートや入学前相談会といった新たな事業を実施したことは、地域のニーズを反映することができている。また、地域の行事等に積極的に参加するとともに、地域の方がボランティアとして児童館事業に参加いただき、地域と連携した児童館運営ができています。 総じて、協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	令和7年度より開設した多文化キッズサロンでは、地域のニーズを反映した事業を実施し、児童館運営が充実したことは評価できる。また利用者アンケートでの意見を取り入れた事業実施や施設整備等の対応を行い、高い満足度を得たことも評価できる。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	熊川児童館
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）管理運営業務基準等に即し、必要な資格、経験を有する人員を確保した。各種報告書は遅延なく提出した。 （所管課評価）必要な資格等を有する人員が確保できており、必要に応じて研修も実施できている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価）事業計画書に則し、じどうかんまつり、地域懇談会、フェス in FUSSAなどの事業を実施した。 （所管課評価）やむを得ない理由により、当初計画していた事業の内、1事業実施ができなかったが、代替事業をすぐに計画し実施したことは評価できる。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価）個人情報に関する書類は鍵付きの保管庫に保管している。またデータ送信ではパスワードロックをかけている。 （所管課評価）個人情報に関する書類の管理が適切にできており、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価）外部委託点検表により毎月履行状況を確認した。 （所管課評価）外部委託業務について、適切に実施できており、報告書等も遅滞なく市に提出できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価）施設管理点検表、日常清掃点検表により点検を毎日実施している。火災受信機、老朽化のため最新型に交換。 （所管課評価）点検及び修繕等は適切に実施できている。また、修繕に時間を要する場合は、利用制限を行うことで、利用者の安全確保ができています。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）安全計画に基づいて毎月避難訓練（職員対象または職員、利用者、学童児対象）を実施した。 （所管課評価）安全計画に基づき、避難訓練を実施できている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）廃棄物は所定の収集箱を設けて分別廃棄を実施している。農業体験事業ではコンポストたい肥を活用した。 （所管課評価）分別廃棄を行うために、所定の収集箱を設けていることは、環境配慮の面で評価することができる。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価）指定管理業務に係わる専用口座を整え、経理業務を実行している。各種支払いの遅延は無し。 （所管課評価）経理については、適切に処理ができており、適正な予算執行ができています。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価）利用者満足度調査、調査票回収目標70枚を回収済み。学習室利用ルールにおいて子ども会議を実施した。 （所管課評価）利用者満足度調査における施設全体の満足度について、「とても満足」及び「満足」という回答が合計94%と高い評価を得ている。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.0	3	（自己評価）町会会議、1中・2小CS委員会、福生市要保護児童対策会議（実務担当者）、小中学校入学式、卒業式に出席。 （所管課評価）地域で開催される町会会議や学校行事等に多数参加し、地域との連携を図ることができている。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	本年度は地域と児童館との繋がりを太くする、また広げていくことに力を入れた。「フェス in FUSSA」では地域の中学校吹奏楽やダンス教室の子どもたちに参加していただき、地域と積極的に連携した事業を実施することができた。また福生市立福生第三小学校の「友遊まつり」へ児童館として出店し、同まつりを盛り上げることに貢献できたと思う。さらに「地域懇談会」では、小中学校関係者、市議会議員、利用者（保護者）の方々にご参加いただいた。いただいた様々なご助言を今後の運営に活かしていく。
所管課評価	A	利用者満足度調査では、高い満足度評価を得ており、調査において利用者から希望のあった漫画を購入する等、利用者の意見を反映した運営ができています。また、町会会議やCS委員会等へ多数参加をしており、地域と連携することができています。 総じて、協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	利用者の意見を反映し、利用者満足度で高い評価を得ていることは評価できる。 今後も地域のイベント等への参加や事業実施を通じ、関係者と連携して地域に根差した児童館運営を行っていただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	(学童)田園クラブ
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)市仕様書及び放課後児童クラブ運営指針に基づいて運営を行った。 (所管課評価)協定書等に基づき、適切な人員配置ができています。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価)天候等で中止になった行事以外は、年間計画に基づいて行事を実施した。 (所管課評価)事業計画書に基づき、事業を実施することができている。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価)全職員への情報セキュリティ研修の実施と物理的、設定上のセキュリティ対策を行った。 (所管課評価)個人情報に関する書類の管理が適切にできており、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価)定期清掃や窓ガラスのフィルム貼り換え等、児童館と共に適切に外部委託業務を実施した。 (所管課評価)児童館と同様に、外部委託業務について、適切に実施できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価)児童館と同様に仕様書に基づいた点検、修繕を実施した。 (所管課評価)児童館と同様に、点検及び修繕等は適切に実施できている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	2.8	3	(自己評価)アレルギー児に除去食材を含むおやつを渡し、飲食前に回収する事案があった。研修と確認の対策を講じた。 (所管課評価)アレルギー食品の誤提供については、重大事故につながる恐れがあるため、再発防止に努めていただきたい。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)花いっぱいコンテストやF-eといった事を行うことで環境に配慮した管理運営を実施している。 (所管課評価)児童館とともに花いっぱいコンテストに意欲的に取り組み、環境に配慮した運営ができています。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価)適切に経理処理を行い、活動費もおたよりにて会計報告をした。 (所管課評価)経理については、適切に処理ができており、適正な予算執行ができています。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	(自己評価)年2回満足度調査を行い水準を満たした。意見があった内容は改善する等の対策を行った。 (所管課評価)満足度調査の自由意見欄に記載いただいた意見について対策をしたことは満足度向上につながるため、評価できる。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.1	3	(自己評価)地域連絡会やふっさつ子運営委員会等といった活動に積極的に参加することで地域との連携を図った。 (所管課評価)地域の行事等に積極的に参加し、地域の方と連携できている。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	昨年度に引き続きアレルギーに関する事故があった。後に除去対象でないことが分かったが、保護者からのヒアリング不足という課題があった。安全にかかわる業務についてマニュアルと書式を作成し改善に務めた。重点項目では福生ホテル研究会と連携した親子でのホテル鑑賞会の実施などの成果もあった。
所管課評価	A	「子ども面談」を新たに実施することにより、子どもの意見表明の場を整えることができています。また、「子ども面談」での意見や満足度調査での意見を反映した事業運営ができています点は評価することができます。 一方で、アレルギー食品の提供において、今年度も事故につながる恐れのあるヒヤリハットが発生した。すでに対策を講じていただいているが、アレルギー食品の提供については、十分に注意し、再発防止に努めていただきたい。 概ね協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	子どもの意見表明の場を整え、意見を反映した事業運営ができていますことは評価できる。 アレルギー食品に関する事故に関しては、昨年度も起こっており、安全に対する対策を徹底していただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	(学童)熊川クラブ
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価) 管理運営業務基準等に則し、必要な資格、経験を有する人員を確保した。各種報告書は遅延なく提出した。 (所管課評価) 協定書等に基づき、適切な人員を確保できている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価) 事業計画書に則し、事業を実施。夏祭りには保護者、兄弟を含め、95名が参加。 (所管課評価) 事業計画書に基づき、事業を実施することができている。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価) 個人情報に関する書類は鍵付きの保管庫に保管している。またデータ送信ではパスワードロックをかけている。 (所管課評価) 個人情報に関する書類の管理が適切にできおり、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価) 外部委託点検表により毎月履行状況を確認した。 (所管課評価) 児童館とともに、外部委託業務について、適切に実施できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価) 施設管理点検表、日常清掃点検表により点検を毎日実施している。火災受信機、老朽化のため最新型に交換。 (所管課評価) 児童館とともに、点検及び修繕等は適切に実施できている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	(自己評価) 安全計画に基づき、毎月避難訓練を実施。不審者対応、性暴力等の研修を受け、職員間で共有した。 (所管課評価) 安全計画に基づき、避難訓練を実施できている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	(自己評価) リサイクル工作(紙飛行機作り)を実施。あき箱やダンボールなどを工作材料にしたり、おやつのごみ分別を指導。 (所管課評価) 廃材を使用し、工作を行っていることが環境配慮の面で評価することができる。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価) 活動費をおやつ、工作材料などに適正に使用。余らず使い切り、年度末に決算し報告。 (所管課評価) 経理については、適切に処理ができおり、適正な予算執行ができている。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	(自己評価) 年2回満足度調査を実施。子ども会議、アンケートの結果を受けて、マンガ等の教材を購入。 (所管課評価) 満足度調査や子ども会議での、意見を取り入れて物品の購入を行ったことは、満足度向上につながったといえる。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.0	3	(自己評価) 七夕竹飾り、民謡パレード、市民文化祭に参加。2小、3小ふっさっ子の広場運営委員会に出席。 (所管課評価) 地域の行事等に積極的に参加し、地域の方と連携できている。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	七夕竹飾り、市民文化祭への作品出展、フェス in FUSSAでのカップス演奏、児童館コラボ事業「ちびっこ先生」やじどうかんまつりの係活動など、子どもが主体となる事業を数多く実施した。様々な自己表現を通じ、子どもたちの成長が感じられ、学童だからこそできる居場所作りに力を入れた1年だった。
所管評価	A	「子ども会議」を実施し、子どもが意見表明できる場を整えており、その意見を反映した事業運営ができている点は評価することができる。また、満足度調査では高い評価とともに自由意見として多くの感謝の言葉をいただいております、利用者のニーズにあった事業運営ができている。 総じて、協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	子どもの意見を多く取り入れ、満足度向上につながったことは評価できる。今後も利用者のニーズを取り入れた事業を実施いただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	(学童)武蔵野台クラブ
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)管理運営業務基準等に則し、人員を過不足なく配置し、また、開所日数、開所時間ともに不足、遅れなく開所した。 (所管課評価)協定書等に基づき、適切な人員配置ができています。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価)事業計画書に則して事業を実施し、利用者ニーズも適宜取り入れた。子どもの権利等、計画的に職員研修を実施した。 (所管課評価)事業計画書に基づき、事業を実施することができている。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価)個人情報の鍵付きキャビネットでの保管、情報セキュリティ研修の実施等対策を講じた。 (所管課評価)個人情報に関する書類の管理が適切にできおり、情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価)外部委託事業者は事前に市の承認を受け、年間を通して保守点検などが計画的に実施されるように確認を行った。 (所管課評価)児童館とともに、外部委託業務について、適切に実施できている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価)トイレや育成室の日常清掃や照明器具の交換等、施設保全に努めた。 (所管課評価)児童館とともに、点検及び修繕等は適切に実施できている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	2.9	3	(自己評価)避難訓練や危機管理マニュアルの見直し等を実施した。鍵の紛失に対し、管理体制の見直しを行い再発防止に取り組んだ。 (所管課評価)安全計画に基づき、避難訓練を実施できている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)紙資源のリサイクルや廃材を使った工作遊び、不要な電気を消す等環境に配慮した管理運営に取り組んだ。 (所管課評価)廃材を使用し、工作を行っていることが環境配慮の面で評価することができる。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価)活動費等、適切に経理業務を実施することができた。各種支払いは遅延なく支払った。 (所管課評価)経理については、適切に処理ができており、適正な予算執行ができています。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	(自己評価)9月と3月に実施した満足度調査では、「満足」に相当する回答が多数を占めた。 (所管課評価)満足度調査では、自由意見欄の記述について、保護者から多くの感謝の言葉をいただいております、高い満足度が得られている。
10	重点項目	地域で開催される会議や行事に参加し、地域と積極的に連携する。	3.0	3	(自己評価)小学校の式典や教育相談室地域連絡会、地域イベントに参加し、地域と積極的に連携を図った。 (所管課評価)地域の行事等に積極的に参加し、地域の方と連携できている。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	行事やおやつでは子どもの意見を日常的に取り入れ、また、家族で参加のできる行事の開催、地域のおまつりへの参加、地元の味をおやつで提供と、子ども主体・地域に根付いた運営を行った。安全面では避難訓練をはじめ、子どもへの安全教育、不審者情報への関係機関と連携した対応等利用者の安全・安心に努めた。今年度から開始された東京都認証学童クラブ事業も含めた運営基準を満たす運営を行うことができた。
所管評価	A	「子ども会議」を実施し、子どもが意見表明できる場を整えており、その意見を反映した事業運営ができている点は評価することができる。また、満足度調査では高い評価とともに自由意見として多くの感謝の言葉をいただいております、利用者のニーズにあった事業運営ができています。 総じて、協定書等を遵守し、その水準に沿った管理運営が行えたものと評価できる。
最終評価	A	満足度調査では多くの保護者から感謝の言葉をいただいていることから、高い評価を得ていることは評価できる。 職員による鍵の紛失に関しては、児童館全体の管理体制の見直しも含め、再発防止に努めていただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市自転車駐車場
指定管理者名	センターサイクル福生共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 法令等を遵守し、管理運営業務を実施した。 （所管課評価） 法令を遵守し管理を行っている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価） 事業計画に沿った管理運営を実施できた。 （所管課評価） 事業計画書に即して運営している。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価） 問題なく適切に管理を実施できた。 （所管課評価） 適切なセキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価） 外部委託業務について、適切に実施できた。 （所管課評価） 適切に管理運営している。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 修繕等施設の維持管理について、適切に実施できた。 （所管課評価） 適切に維持管理業務を実施している。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 施設の安全利用についての注意喚起等を実施した。 （所管課評価） 安全な施設利用に努めている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 切電、節水等を心掛け管理を実施できた。 （所管課評価） 環境に配慮して管理運営している。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価） 収支計画の範囲内で事業を実施できた。 （所管課評価） 収支を明確にし適切に経理を処理している。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価） アンケートの項目について、概ね高い評価をいただいた。 （所管課評価） 利用者の満足度の向上に努めている。
10	重点項目	接遇態度の徹底及び誠実な対応により、トラブルを未然に防止する。	3.0	3	（自己評価） トラブルなく管理を実施することができた。 （所管課評価） 大きなトラブルもなく運営することができている。
		合計点	30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
		得点率	60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	利用者対応、施設の維持管理等において適切に実施し、収支についても、予算の範囲内で適切に実施できた。
所管評価	A	市への報告及び連絡調整を適切に行い、利用者に対し事故や苦情等に迅速かつ適切に対応している。 利用者アンケートの結果では、自転車駐車場利用及び管理人の満足度について、「良い」「まあ良い」「普通」がいずれも全体の95%以上で、自由意見においても管理人の対応を評価する意見が多ことから、独自の研修プログラムによる利用者目線の適切な対応がとられていることがわかる。 収支状況については、利用料金収入が前年度比で約177万円増加し、約391万円の黒字となっている。 以上のことから、所管課評価としては、協定書等を遵守し、その実施水準、運営水準を満たしており、良好であると評価できる。
最終評価	A	利用者アンケートの結果は、令和6年度に引き続き良好であり、収支についても利用料金収入は増加しており、収支の範囲内で適切に実施していることも評価できる。 引き続き、安全に利用できる環境整備に努めていただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市営福生駅西口駐車場
指定管理者名	福生市商工会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）関係法令等を遵守し管理運営業務を実施いたしました。 （所管課評価）法令を遵守し管理を行っている。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価）事業計画書に即して運営いたしました。 （所管課評価）事業計画書に即して運営している。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価）情報セキュリティ対策を行い、適切な管理運営業務を実施いたしました。 （所管課評価）適切なセキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価）外部委託事業者に委託し、専門的な管理運営を実施いたしました。 （所管課評価）適切に管理運営している。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価）施設の点検等を実施し、維持管理業務を実施いたしました。 （所管課評価）適切に維持管理業務を実施している。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）利用者が安全に利用できるよう対策を実施いたしました。 （所管課評価）安全な施設利用に努めている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価）省エネルギー等環境に配慮した管理運営を実施いたしました。 （所管課評価）環境に配慮して管理運営している。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価）指定管理業務に係る専用口座・帳簿等を備え、現金管理等適切に実施いたしました。 （所管課評価）収支を明確にし適切に経理を処理している。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価）利用者アンケートを実施し、利用者の満足度の向上に努めました。 （所管課評価）利用者の満足度の向上に努めている。
10	重点項目	接客態度の徹底及び誠実な対応により、トラブルを未然に防止する。	3.0	3	（自己評価）利用者が安全安心に利用できる、管理運営を実施いたしました。 （所管課評価）大きなトラブルもなく運営することができている。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	利用者すべてが気軽に安心して利用できる駐車場を目指し、利用促進を図りました。
所管評価	A	福生駅西口駅前違法駐車対策については、福生市商店街協同組合や近隣商店街と連携した駐車回数券の積極的な販売により、前年度比で121冊242,000円減とはなったものの、796冊を売り上げており、違法駐車は減少に大きく貢献している。 また、利用者アンケートの結果から、利用目的は商工会と扶桑会館利用が87%とほとんどで、利用理由も「目的地に近い」が最も多いことから、利用者のニーズに応えることができていると評価できる。さらに、利用頻度についても「10回以上」の回答が71%となっており、自由意見においても「使いやすくてありがたい」という意見もあることから、利用者からの評価は良好である。 収支状況は、前年度比で約90万円増額となり、約652万円の黒字となっている。 以上のことから、所管課評価としては、協定書等を遵守し、その実施水準、運営水準を満たしており、良好であると評価できる。
最終評価	A	令和6年度より駐車回数券の販売冊数は減少しているものの、駐車台数は増加し、利用者アンケートの結果も良好であることは評価できる。 引き続き適切な施設運営に努め、違法駐車減少に貢献されたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	扶桑会館
指定管理者名	福生市商工会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)関係法令、条例、協定書及び管理運営業務基準書を遵守し、適正な管理運営を実施した。 (所管課評価)関係法令等を遵守し、概ね適切に実施されているものと評価する。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価)年間事業計画に基づき、計画的に事業を実施した。事業の進捗管理を行い、適切な施設運営に努めた。 (所管課評価)概ね適切に実施されているものと評価する。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価)個人情報及び施設情報の適切な管理を行い、情報セキュリティ対策を実施した。情報漏えい等の事故は発生していない。 (所管課評価)業務日誌等は適切に保管されており、個人情報に関する書類は安全に保管されている。利用者からの情報漏えい等の事故の報告もなく、適正な管理が行われているものと評価する。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価)委託業者との連携及び履行状況の確認を適切に行い、委託業務は適正に実施された。 (所管課評価)事業報告書で履行状況の報告がされており、施設管理に必要な業務委託が適切に履行されたことを確認している。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価)日常点検及び定期点検を実施し、必要な修繕や保守を行うことで、施設の適切な維持管理に努めた。 (所管課評価)所管課においても定期的に施設の状況確認を実施しており、指定管理者による日常点検及び定期点検並びに必要な修繕・保守が適切に実施されていることを確認している。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)館内の安全確認や設備点検を実施し、利用者が安心して利用できる環境の確保に努めた。 (所管課評価)館内の安全確認及び設備点検が適切に実施されており、利用者が安全に利用できる環境の確保に努めているものと評価する。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)節電・節水やごみの分別を実施し、環境負荷の低減に配慮した施設運営を行った。 (所管課評価)環境負荷の低減に配慮した取組が一定程度適切に実施されているものと評価する。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価)関係規程に基づき適正な会計処理を行い、経理書類の整理・保管を適切に実施した。 (所管課評価)事業報告書により確認したところ、関係規程に基づき適正な会計処理が行われており、経理書類の整理・保管についても概ね適切に実施されているものと評価する。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.1	3	(自己評価)利用者からの意見や要望を集計し、サービス向上及び満足度の維持・向上を図った。 (所管課評価)利用者からの意見・要望の集計及び分析が行われており、サービスの向上及び利用者満足度の維持・向上に努めているものと評価する。
10	重点項目	市民等の施設利用に際し、施設予約システム等の適切な運用を行う。	3.0	3	(自己評価)施設予約システムを適切に運用し、利用者への丁寧な案内や円滑な予約管理に努めた。 (所管課評価)施設予約システムの適切な運用が実施されているものと評価する。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価	評価理由
自己評価	A 関係法令等を遵守し、各業務を適切に実施するなど、概ね適切に管理運営を行うことができました。モニタリングにおいても、大きな指摘事項はございませんでした。商工会ホームページ内の扶桑会館利用案内ページによる周知を行うとともに、商工会の関連団体による会議や講習会等での利用を案内し、利用促進に努めました。利用者対応については、大きな苦情等はなく、利用時アンケートを実施することで利用者ニーズの把握に努め、サービス向上につなげました。毎月の収支状況を確認し、予算との差異を把握しながら適切な執行管理を行いました。以上のことから、令和7年度の管理運営については、総合的に適切に実施できたものと評価します。
所管評価	A 業務基準や協定書等に従い全項目について求められた水準を概ね満たしている。昨年度と比較しても利用件数が増えていることを報告書により確認しており、利用者増に努めていると評価する。また、大きな苦情はなく、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握しより良いサービスの提供に努めている。維持管理の面においても計画的な修繕を行い、適切な維持管理を行っていることを確認している。収支予算書の範囲内で適正な水準を概ね満たしている。引き続き利用者の満足度向上と利用者数増加を期待したい。
最終評価	A アンケートにおいて利用者ニーズの把握に努め、昨年度より利用者増につなげたことは評価できる。また大きな苦情もなく、維持管理面も含め概ね適切な会館運営を行っている点も評価できる。協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	熊川地域体育館
指定管理者名	福生市スポーツ推進グループ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 法令や業務基準等を遵守して管理運営業務を実施された。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 事業計画書等に則し、適正な運営が行われた。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価） 施設可能なキャビネットを使用し適正に管理できました。 （所管課評価） 個人情報等は施設できる書棚に安全に保管されている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 外部委託は、協定書や法令等に基づき、適切に行われている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 施設維持に係る法令点検等は適切に実施されている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 緊急時の対策は、連絡体制やマニュアルが整備されている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 適切な温度管理のためにWBGT計の設置を行い、管理できました。 （所管課評価） 館内の節電・節水、WBGT計を用いた適切な空調使用など、環境配慮の取り組みが積極的に行われている。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 金銭管理・収支報告は適正に行われている。
9	稼働率の向上	施設の稼働率を70%以上とする。	3.0	3	（自己評価） 様々なイベントを企画し利用者満足向上、継続利用促進に努めました。 （所管課評価） 施設稼働率70%を達成され、76.5%となった。
10	重点項目	来場者数の向上に努め、来場者数を前年度より増加させる。	3.0	3	（自己評価） 様々なイベントを企画し来場者数向上に努めました。 （所管課評価） 来場者数増のため、様々なイベントを企画し、来場者数が増となった。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	利用者満足度向上や継続利用促進を目的とした各種イベントの実施を行いました。その他にも施設管理者として備品の保守点検や修繕工事等を実施し、安全性及び快適性の確保に努めることができました。
所管課評価	A	施設の管理・運営は環境等にも配慮され、適正に行われている。令和7年度は前年度と比較し、来場者数が微増となった。引き続き利用者満足度の向上と利用者ニーズの把握に努め、各種イベントや教室等を実施し、利用者の満足度向上と利用者数増加に繋がることを期待したい。
最終評価	A	利用者からの要望を受け、サービスの改善や事業の拡充を行い、利用者が増加したことは評価できる。今後も利用者のニーズや地域の特性を活かした事業の実施及び施設の環境整備に努めていきたい。協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生地域体育館
指定管理者名	福生市スポーツ推進グループ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 法令や業務基準等を遵守して管理運営業務を実施された。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書（年間計画書）則して運営（事業）を実施したか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 事業計画書等に則し、適正な運営が行われた。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	（自己評価） 施錠可能なキャビネットを使用し適正に管理できました。 （所管課評価） 個人情報等は施錠できる書棚に安全に保管されている。
4	業務委託	外部委託事業者（第三者委託先）に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 外部委託は、協定書や法令等に基づき、適切に行われている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 施設維持に係る法令点検等は適切に実施されている。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 緊急時の対策は、連絡体制やマニュアルが整備されている。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	（自己評価） 適切な温度管理のためにWBGT計の設置を行い、管理できました。 （所管課評価） 館内の節電・節水、WBGT計を用いた適切な空調使用など、環境配慮の取り組みが積極的に行われている。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	（自己評価） 仕様にに基づき適正な範囲で運営管理ができました。 （所管課評価） 金銭管理・収支報告は適正に行われている。
9	稼働率の向上	施設の稼働率を70%以上とする。	3.0	4	（自己評価） 様々なイベントを企画し利用者満足向上、継続利用促進に努めました （所管課評価） 施設稼働率70%を達成され、83.1%となった。
10	重点項目	来場者数の向上に努め、来場者数を前年度より増加させる。	3.0	4	（自己評価） 様々なイベントを企画し来場者数向上に努めました。 （所管課評価） 来場者数増のため、様々なイベントを企画し、来場者数が大幅に増となった。
合計点			30	32	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	64 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	利用者満足度の向上や継続利用の促進を目的とした各種イベントを実施したほか、施設管理者として外壁調査、備品の保守点検、修繕工事等を計画的に実施し、安全性および快適性の確保に努めることができました。
所管評価	A	施設の管理・運営は環境等にも配慮され、適正に行われている。令和7年度は前年度と比較し、来場者数が122%となり、増加している。人気のイベントや教室を引き続き実施し、更なる来場者数増や満足度向上に期待したい。
最終評価	A	新規事業の実施や利用者のニーズを踏まえた教室運営の改善等を行い、令和6年度と比較し大幅な利用者増となったことは評価できる。引き続き提案事項にある開催を検討している項目について、検討いただき、更なる改善を図られたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市営プール
指定管理者名	有限会社ブイフィールド
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 法令や業務基準等を遵守して管理運営業務を実施している。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 事業計画書等に即し、適正な運営が行われている。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 適切な情報セキュリティ対策を講じている。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 協定書や法令等に基づき適切に行われている。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 適切に実施している。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.1	4	(自己評価) 利用案内の周知徹底を図り、熱中症対策、危険箇所への対策、利用者の苦情・意見にも迅速に対策を講じた。 (所管課評価) 従業員は必要な資格を保有し、安全のための強化練習を行っており、スキルアップを図っていることはもちろん、日本水泳連盟プール公認規則では社内配置で可とされているプール管理者を、施設に常駐配置している。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.3	4	(自己評価) 開場準備清掃では、環境に配慮してプール水を排水し、開場期間外は電気使用量を昨年以上に削減した。 (所管課評価) エネルギー使用量の削減に努めた他、家庭で余った食品を集め、近隣施設等に寄贈するフードドライブを実施し、環境負荷軽減・社会貢献に寄与した。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価) 協定書等に基づき適切に実施した。 (所管課評価) 適切に処理している。
9	利用者満足度の向上	利用者満足度の向上に努め、利用者アンケートの満足度を70%以上とする。	3.3	3	(自己評価) 笑顔で元気な挨拶、接遇、水質管理、衛生管理を徹底し、利用者満足度の向上に努めた。 (所管課評価) アンケートでは98%の賛辞評価を受けている。
10	重点項目	来場者数の向上に努め、開場時の1時間あたりの来場者数を前年度より増加させる。	3.1	4	(自己評価) 上記項目9により来場者数の向上に努め、開場時の1時間あたりの来場者数は前年度より増加した。 (所管課評価) 入場者数前年比7%増を達成している。
合計点			31	33	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			62 %	66 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	各評価項目を協定書等に基づき適切に実施した。施設利用者の安全確保、環境配慮、利用者満足度の向上、重点項目は、開場準備から開場期間中においては市の要求水準以上に実施した。
所管評価	A	近隣の屋外プールの閉場・閉鎖の影響があり、前年比7%増の来場者があったが、円滑に運営をしていた。引き続き情報発信の強化や利用者の満足度向上に繋がる管理運営を期待したい。
最終評価	A	令和7年度は猛暑が続いたが、熱中症対策等を実施し、利用者の安全確保に努めていることは評価できる。また高い利用者満足度及び利用者増となったことも評価できる。 施設の老朽化は進んでいるが、今後も適切な維持管理を実施していただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。

指定管理業務総括評価書（令和7年度）

施設名	福生市民会館
指定管理者名	株式会社コンベンションリンケージ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

	評価項目	要求水準	自己評価 令和7年度 平均値	所管課評価	評価理由
1	法令遵守	関連法令、条例、協定書及び管理運営業務基準等を遵守して管理運営業務を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)基本協定、指定管理者管理運営業務基準に基づいて、適切に管理運営業務を実施できた。 (所管課評価)基本協定、指定管理者運営業務基準に基づいて、適切に管理運営業務を実施していた。
2	計画に基づく事業の実施	事業計画書(年間計画書)則して運営(事業)を実施したか。	3.0	3	(自己評価)年間事業計画に基づいた事業運営を実施できた。 (所管課評価)年間の事業計画に基づいて事業を企画・運営していた。
3	情報セキュリティの確保	適切な情報セキュリティ対策を講じているか。	3.0	2	(自己評価)ノートPCについては終業時に鍵付きキャビネットにて保管することを実践できているがデスクトップPCの物理的セキュリティができていなかった。 (所管課評価)基本協定別紙に記載されている電子計算機の取扱いについて、一部デスクトップPCではワイヤーロック等の物理的な対策ができていないことが確認された。
4	業務委託	外部委託事業者(第三者委託先)に委託した業務は適切に履行されたか。	3.0	3	(自己評価)指定管理者管理運営業務基準に基づいて、適切に履行した。 (所管課評価)指定管理者管理運営業務基準に基づいて、資格を有する者を適切に配置し、履行したことを確認した。
5	施設の点検・保全	施設の点検、修繕等の維持管理業務を適切に実施しているか。	3.0	3	(自己評価)保全・点検等の維持管理を適切に実施したほか簡易的な保全修繕を迅速に対応してきた。 (所管課評価)月次点検、年次点検等を適切に行い、簡易的な保全修繕に対応したことをモニタリングで確認した。
6	施設利用者の安全確保	利用者が安全に施設を利用できるような対策を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)防犯カメラの時刻合わせを定期的実施、利用打合せでは利用者の安全を最優先で利用者に説明するなど安全安心な利用を実践した。 (所管課評価)利用者が安全に活動できるように公民館係と連携し、敷地内や駐車場での注意喚起や掲示を行っていた。
7	環境配慮	環境に配慮した管理運営を実施しているか。	3.0	3	(自己評価)Feの観点から「できる事は必ずやる」を合言葉に環境配慮の運営をころがけた。 (所管課評価)節電・節水の掲示を行うことで、利用者への呼びかけを行った。裏紙の使用やゴミの分別、リサイクルを行い環境配慮への取り組みを行っていた。
8	経理の真実性・明瞭性	経理は適切に処理しているか。	3.0	3	(自己評価)本社と統合した経理管理システムを活用し、適切な処理を実践できている。 (所管課評価)民間独自の経理管理システムを活用しながら、適切に処理・報告を行っていた。
9	稼働率の向上	施設の稼働率を前年度比1%以上増とする。	3.1	4	(自己評価)前年度比1%の稼働率向上はクリア、利用人数も30万人の大会に乘せることができた。 (所管課評価)前年度比1%以上の稼働率が向上した。また、大ホールの利用者は約1.5倍増加しており、全体でも30万人を超えることができた。
10	重点項目	市民等の施設利用に際し、施設予約システムの申請等、適正な運用を行う。	2.7	3	(自己評価)一部入力したものが消えてしまう問題(請求を立てて期限延長しても)があったり公民館部分の利用取消や変更処理において公民館との運用方法の差異があったりしたが、指導助言の下、適正な運用に努めた。 (所管課評価)公民館係との運用の差違があったが、指示・助言の下、適切な運用を行った。また、改善点を共有し、運用方法の改善を行っていた。
合計点			30	30	※自己評価平均値の合計は小数点第1位を四捨五入します。
得点率			60 %	60 %	

総合評価		評価理由
自己評価	A	7月以降予約システムの運用について、仮予約が消えてしまう問題により公民館と収納処理の差異が生じてしまったり、仮申請～本申請受領時の確定が遅れたりする場面があったが、指導助言により適正な運用に努めた。 施設運営面で年間利用者数は弊社指定管理期間2期で最高となり、利用者数30万人の大会にのせて大いに賑わいの創出ができたとして自己評価している。
所管課評価	A	予約システム導入当初は窓口業務と併用による複雑化などから、システム管理についての不備が多く見られたが、指示・指導を重ね現在では適切な管理運営に努めている。また、稼働率については目標設定している1%を大きく上回る結果となり、全体での利用者数も大会の30万人を超えることができた。情報セキュリティ対策について、未実施であったデスクトップPCの物理的な対策や一部実施であった項目については、来年度への課題として、指示・指導を行った。
最終評価	A	目標に設定していた稼働率が向上し、利用者数も指定管理期間で最大の人数となったことは評価できる。引き続き、様々な事業を実施し利用者サービスの向上に努めていただきたい。 情報セキュリティ対策の未実施や一部実施の項目については、早急に対応をいただきたい。 協定書等に基づき概ね適切に実施されており、市の要求水準を満たしていることから、最終評価は「A」とした。